大学院における学位論文に係る評価基準

医　療　保　健　学　研　究　科

【修士論文】

＜審査基準＞

１．問題意識が明確であるか
２．研究目的及びテーマが明確であるか
３．先行研究のレビューが適切に行われているか
４．研究目的、テーマに沿った妥当な研究方法が採用されているか
５．研究方法で示されている分析が適切に行われ、結果として提示されているか
６．結果に基づき適切な考察がなされているか
７．論文が首尾一貫した論理構成になっているか
８．論文の記述が十分かつ適切であるか
９．論文が既定の書式に沿って作成されているか
10．研究内容が独自の価値を有するものとなっているか

＜審査・採点方法＞

・審査員が上記の審査規準項目についてそれぞれ個別に評点を出し､主査に提出する。
・主査は審査員の評点を参考に総合評価を行い、評点を付け、報告書を作成する。

【博士論文】

＜審査基準＞

・所定の履修も含めて各自の計画に沿った研究を進行させ、指導教員による審査に合格していることが要件となる。
・学位論文審査委員の審査及び口頭試問での審査は以下のとおり複数の審査基準によって実施し、当該分野での学術的な貢献をなし得る高い研究能力及び将来にわたり専門研究者として十分に活躍できると判断される者に学位を授与する。

（１）研究テーマの妥当性
（２）問題意識の明確さ
（３）方法論的な一貫性
（４）先行研究との関係
（５）論旨展開・文章表現の妥当性

看　護　学　研　究　科

【修士論文】

評価項目	評　価　基　準
1. テーマ	新規性があり、独創的なテーマである。
2. 抄録	論文全体の重要な点を要約し、目的、方法、結果、考察で構成されている。
3. 緒言	関連する分野の先行研究が網羅されており、研究の問いやその解決の必要性が記述されている。
4. 研究目的	目的が明確で、焦点を絞り込んでいる。
5. 研究方法	目的に対応した、適切な研究デザインと研究方法で行われている。
6. 倫理的配慮	研究に関わる倫理上の問題について考慮し、研究対象者への倫理的配慮が適切に行われている。
7. データ取集と分析方法	選択した研究デザインに適したデータ収集方法と分析方法である。
8. 結果	研究に関連した結果の事実のみ全て記載している。
9. 図表	最も重要なデータを示すなど図表を適切に使用している(図表と同じ説明を本文中で記述していない)。
10. 考察	先行研究の知見や、当該研究の方法や結果に基づいて適切に考察されている。
11. 結論	目的に対する答えが結果だけにとどまらず明確に記述されている。
12. 一貫性	緒言から結論に至るまで、研究課題に沿って一貫性がある。
13. 論文の体裁	前記１～11 の論文の構成など、課題研究の執筆規定に従って記述されている。
14. 取り組み状況	指導教員との協議を通し、研究の各過程における主体的な実施がうかがえる。
15. 発表時間	指定された時間を厳守し、且つ、聴衆に耳で理解しやすい言葉と速さで発表していた。
16. 発表内容	発表の主要部分のデータや文言が注意深く選択され、論点が非常に分かりやすかった。

【博士論文】

評価項目	評　価　基　準
1. テーマ	看護に関わるテーマであり、新規性があり、独創的なテーマである。
2. 目的	国内外の研究論文を包括的かつ広範囲に文献検討し、研究目的を明確化している。
3. 方法	研究目的を達成するために適切な研究方法を適用している。
4. 倫理的配慮	研究計画時から学位論文提出までの全過程を通して研究倫理を遵守し、研究ノートを適切に作成している。
7. データ取集と分析方法	選択した研究デザインに適したデータ収集方法と分析方法である。
6. 結果	一貫性を持って結果が適切に表現され、目的に合致するものである。
7. 考察	新規性、看護学的・学術学的意義について文献を用いて論理的に考察している。
8. 結論	研究成果は、学際性を有し且つ国際的・社会的貢献度が高く、看護学の発展に寄与するものである。
9. 発表内容	論文内容を適切に包括し、聴衆に理解されやすいものである。
10. 発展性	研究者としての自覚と責任を持ち、看護学における研究を発展させることができる。

和　歌　山　看　護　学　研　究　科

評価項目	評価観点
タイトル	・タイトルは適切に表現されているか。 ・タイトルは研究の内容を表現したものであるか。
序論 文献検討	・文献検索が網羅され、論理的に研究課題の必要性が述べられているか。
目的 研究意義	・文献検索から導かれた研究課題であるか。 ・研究目的が明確に述べられているか。 ・研究目的は看護学にとって意義があるか。
研究方法	・研究目的に沿った研究デザインが設定されているか。 ・研究目的に応じた対象選定基準が示され、対象が選ばれているか。 ・サンプルサイズは基準を満たしているか。 ・研究目的に応じた分析方法が示されているか。
倫理的配慮	・適切な倫理規準に基づいているか。 ・倫理委員会の承認を得ているか。
結果	・研究対象者の概要が示されているか。 ・分析方法に示した結果が示されているか。 ・研究目的に応じた結果の書き方がなされているか。 ・図表を適切に用いて記述されているか。
考察	・研究結果の解釈を適切に行っているか。 ・先行研究、研究結果、研究者の解釈を適切に区別して述べられているか。
結論	・明確に結論が述べられているか。 ・研究の限界および課題が示されているか。
独創性	・研究内容が独創的であるか。 ・新たな知見を示しているか。 ・未発表の内容であるか。
貢献性	・看護実践への貢献をなしうるものであるか。 ・看護学の発展につながるものであるか。
将来展望	・本研究から得られた知見は、今後の研究遂行への方向性を示しているか。
口頭試問	・研究内容を論理的に説明できるか。 ・質疑応答に適切かつ的確に対応できるか。

千　葉　看　護　学　研　究　科

東京医療保健大学大学院千葉看護学研究科修士課程おける学位論文の審査基準は、以下の通りとする。

【修士論文審査基準 】

①課題：問題意識が明確でテーマ設定は適切か先行研究の系統的なレビューから、研究目的と社会実装を含めた研究意義が導きだされているか、文章力・読解力・自己表現力があるか

②方法：課題に見合った方法論が選択されているか、倫理的配慮が適切か

③結果：研究結果の記載（文、式、 図、表）が適切か、与えられた情報や仮定から、結論を導き出す過程に問題点は見られないか

④考察：明快性・一貫性・論理性のある論旨が展開されているか、得られた結果の解釈が適切か、社会実装にむけた可能性や課題が論じられているか

⑤引用：過去の関連研究の評価や引用が適切であるか

⑥貢献：看護学への貢献度があるか